



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名：消化器内科 横須賀亮介

【研究責任者】

聖路加国際病院 消化器内科 横須賀亮介

大腸ポリープに対する EMR の安全性に関する検討

1. 研究の対象

2011 年 4 月から 2023 年 12 月までに当院で大腸ポリープに対して内視鏡的粘膜切除術を施行された方。

2. 研究の目的・方法

大腸ポリープは近年増加傾向ですが、その標準的な内視鏡治療の方法として Endoscopic Mucosal Resection(EMR)が広く行われています。EMR は内視鏡的粘膜切除術と呼ばれ、ワイヤーを絞めて高周波電流を流してポリープを焼いて切り取る内視鏡治療です。EMR には後出血や穿孔などの合併症があり、リスクの高い方では入院で治療を行います。具体的にどのような方が入院すべきかは明らかではありません。本研究では EMR の合併症やそのリスク因子を検討し、どのような方が外来でも安全に EMR を施行できるかを明らかにすることを目的としています。

調査期間は当法人研究機関の長による実施許可後～2025 年 3 月 31 日までの予定です。該当データの利用開始は、2024 年 3 月 11 日を予定しております。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》カルテ番号、年齢、性別、内服薬、切除したポリープの詳細、止血処置の内容、術後輸血/入院/内視鏡検査再施行の有無など